

6月号  
特集

# 男女共同参画社会

の実現に向けて

特集



六月二十三日から二十九日までの一週間は男女共同参画週間です。男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指すものです。その実現のためには、町と町民の方々が一体となった取り組みが必要です。今月号では、男女共同参画社会に向けた本町の取組みと、男女共同参画の視点によるまちづくりを進めている個人・団体を紹介します。

## 男女共同参画社会とは

従来からあるような「男性は仕事」「女性は家事」といった性別による役割分担意識によることなく、それぞれの「人」が個性と能力を発揮し、生きがいをもって豊かな生活を送ることができる社会、それが「男女共同参画社会」です。その実現のためには、仕事と家庭の両立を支援するとともに、女性の社会進出の障壁を取り除く必要があります。

## 仕事と家庭の両立のために

本町においては、保育園の待機児童はゼロです。今後も引き続き堅持していくことを目標としています。また、多様な働き方に応じた保育ニーズに 대응するため、一時保育や長時間保育などの保育サービスを実施しています。さらに、地域の住民が互いに子育てを助け合うファミリーサポートセンター事業を推進しています。

町内事業所に対しては、子育て家庭

を優待する「はぐみんカード事業」への参加協力を求めることにより、社会全体での子育て支援の意識醸成に努めています。

## 女性の社会進出のために

男女共同参画社会の実現は、男性の協力なしにはできません。家事・育児などの負担が女性に偏っていることは、働く意欲のある女性の障壁の一つとなっています。女性の社会進出のためには、家事や育児への男性の協力や参加が必要不可欠です。

本町では、「男性の簡単料理教室」「ニューファミリー教室（パパママ教室）」などの父親参加型事業を行うとともに、広報等を通じて意識の醸成に努めています。また、男女共同参画をテーマに、毎年「レインボースクール」を開催しています。本年度は、「女性の社会進出」と「男性の家事への参画」をテーマに実施します。開催日は広報等でお知らせします。ぜひご参加ください。